

# 「まったくのホラでもない話 2018」

マンガ学科 チョン・インキョン Chung In-kyung



今年の2月頃まで東アジアには軍事的緊張が高まっていました。北朝鮮による度重なるミサイル発射実験は周辺諸国に不安を与え、北朝鮮とアメリカ両首脳が発する挑発的で短絡的な発言に、戦争間近かと絶望的な気持ちになりました。私は日本政府に、両国の間に立ってもらって事態を鎮静させる役割を期待していました。しかし残念ながら当時の日本が東アジア情勢の安定のために行ったことは、皆無に近かったと言えるのではないのでしょうか。北朝鮮の脅威を強調するだけの政府と多くのメディアに、私は逆に底知れぬ恐怖を感じました。戦前の日本社会はこういう雰囲気だったのかな、と思ったものです。安定志向で、政権交代を強く望まないというのが最近の若者の主な傾向のようです。しかし批判をせず、支持する政党や政治家をただ擁護するだけでは、せっかく手に入れた民主主義が後退しかねません。今の日本で、おそらく少し過激に見えるかもしれない私の作品が、権力との向き合い方を議論するひとつのきっかけになれば嬉しいのですが。



韓国ソウル生まれ。1996年淑明女子大学史学科（韓国）卒業。2006年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了（芸術博士）。2000年ハノーヴァードイツEXPO国際マンガ展入選/第6回京都国際マンガ展グランプリ受賞（2004）/第35回日本漫画家協会賞特別賞受賞（2006）/第50回日本ジャーナリスト会議黒田清JCI新人賞受賞（2007）/平成19年度京都市芸術新人賞受賞（2008）など国内外で受賞多数。著書「コバウおじさんを知っていますか」など。

